

第2回神崎中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成26年8月26日（火）19:00～20:30

場所：こうざき小学校1階ホール

○出席者28名（内代理出席3名）、欠席者1名

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

3. 議 事

(1) スケジュール等について

①統合までの手順について

- ・資料集をもとに、地域協議会における合意形成から「神崎中学校区実施計画」の策定完了までの手順について、事務局より説明する。

<質疑なし>

②統合の時期について

- ・統合合意後の動きについて事務局より説明する。
また、各校区ごとに統合の時期についての意向が報告される。

<主な質疑応答>

【委員】①について平成26年度末に統合合意の場合に、統合に係る文書は、報告書とは違ってどのような内容となるのか。

【事務局】木佐上校区の統合についての意思表示というような文書で、校区から教育委員会と地域協議会宛に提出していただければどうか。

<主な報告事項>

【木佐上校区】木佐上校区は今年度13名児童がいるが、4名卒業すると来年度は9名となる。PTAより27年度からこうざき小への統合の意見があり、木佐上校区の全戸アンケートをとった。4分の3の方が一応同意であった。

7月27日に臨時総会が開かれ、小学校をなんとかしなければという思いで活動してきたが、統合も止む無しとなった。統合に向けて、「跡地利用要求委員会」と「閉校等準備委員会」の二つの委員会を立ち上げて地域一体で27年度統合に向けて取り組む事となっている。

26年度末で閉校という要望である。

【こうざき校区】統合については意義なく、統合後どういった学校にしていくかについて関心がある。

【大志生木校区】大志生木校区としても学校の歴史やほかの問題も含めて木佐上と同じ気持ちである。やはり大人数のなかでもまれて、友人もたくさんできて育っていくのがよいという事で統廃合はすべきという考え方である。統合については時期を決めてそれに向けて協議していくという事がよいのではないかと思っ

いる。まだまだ解決しなければならない問題があると思っている。跡地利用のこと、体育館の利用等いろいろ問題があるが、これは同時進行で地域で役員の意見を聞いていく。

当面は統合の時期をいつにするのか、また、通学の問題等解決に向けて取組を進めていく。

<確認事項等>

木佐上小学校については27年度からこうざき小学校に統合ということを本協議会での合意として確認した。

③年間スケジュールについて

- ・今後の地域協議会の日程（案）について事務局より説明する。

<質疑なし>

(2) 今後の協議内容について

①校区説明会 質疑の要点整理について

②校区説明会 主な質疑の回答について

- ・校区説明会での質疑と回答について事務局より説明する。

<主な質疑応答>

【委員】以前、大志生木のスクールバスは難しいと言う事で、タクシーでということをお聞きしたが、その話は「通学の安全性と支援について」の所には全く触れられていない。

【事務局】この回答はあくまでも、5月に行った説明会の分についてである。スクールバスよりもバスの支援がよいという意見、バス路線までいくのに距離があるのでバスの支援だけでは困るということもあった。その中で、どういう形がよいのかは、みなさんの意見を聞き検討していく事になる。木佐上は路線バスが走っている訳ではなく、保護者の思いもあると思うので、いろいろと検討していく事になる。

【委員】先日意見を集約したのだが、今きちっとまとめる段階に入っている。

そこで再度確認だが、木佐上が統合になる時の条件が私どもに適用されるということはないと考えてよいか。木佐上が出す条件に対してそれに準じるということはないと考えてよいか。

【事務局】通学の環境が違うのでそういう事は違ってくると考えている。

教育環境面とかについては、3校区で確認した中でということになると思う。

【議長】条件面については、まずは木佐上は木佐上で、大志生木は大志生木で話し合う。協議会で意見を出して心配するような条件に差がないよう調整をしながら統合に向かって進んで行こうではないか。

【委員】この協議会での共通の認識として、統合した後、木佐上小、大志生木小が集まって一緒になる。前よりよくなったという事にならないと。そういうためには

どうするのか。そのために交流学習とかやっついていかないといけないと思う。基本になるのは子ども達一人ひとりが、みんなが楽しいなあと思える学級を作ってもらいたい。そして毎日学校が楽しいと、そういう環境を是非作ってもらいたいなど私は思っている。その協議をしてもらいたいと思っている。

【事務局】大分市教育委員会は、現在の子ども、また将来の子どもの教育環境を作っていく、まだ学校に入っていない子ども、まだ生まれていない子どもを含めて教育環境を作っていくことを第一に考えている。教育委員会の3課だけでなく、4名の校長も入ってそういう事は進めて行かなければならないと考えている。

【委員】学校としてもこうざき小学校長とは協議をしている。10月から月に2回の予定で交流学習を取り組んでいきたいと思っている。子どもたちには今日合意ができたので9月1日の始業式のときに、3月末に木佐上小を閉じるということと、こうざき小と一緒にすること、そこでみんな頑張るんだという事、そのために交流も更に進めていくので安心して行ける環境をつくるという話をしたい。

【委員】いいプランなので具体例を見定めたい。子どもたちがどうなっていくかとか具体的にこの協議会で報告してほしい。

【委員】木佐上が必要とする条件について大志生木も参考になるから、焦点を絞って協議し、校区毎に話し合いをもって解決していくべきではないか。

【議長】木佐上校区については、諸条件についての意見集約を行いまとめている段階。大志生木校区も木佐上校区と条件が違うから、意見集約を行って整理していく。

10月の第3回の協議会ではある程度お互いの意見が出されるところまでいけばよいと思う。

それから、統合後にどういった学校になるのか、具体的には小中一貫教育について現在行われている賀来小中学校の状況についても情報が得られるとありがたいし、視察にも行ってみたいと思う。そういう事も教育委員会として今後準備願いたい。

<確認事項等>

今回の会議では、各校区ごとに通学等の問題点についての意見をもとに協議する。

また、事務局から小中一貫教育に関する説明を受けて協議する。

第3回協議会を10月14日（火）の19時から、こうざき小学校1階ホールで行うことを確認する。

8. 閉会のことば